

**地域情報プラットフォーム推進事業について
(引越ワンストップサービス分野の検討状況)**

地域情報プラットフォーム推進事業の概要

概要

ワンストップサービスの早急な実用化と普及を図るため、引越分野及び地域活性化分野において、地域情報プラットフォーム標準仕様に準拠したシステムにより、ワンストップサービスの実証実験を行い、ワンストップ化に向けた運用面・制度面における課題の抽出と解決方策の提示、ワンストップ化による効果の測定等を行う。

成果

委託先(民間法人)は、①ワンストップ化に向けた運用面・制度面における課題の抽出と解決策の提示、ワンストップ化による効果の測定等、②業務システムのインターフェース等に係る実用仕様案の策定等を行う。

国は、この成果物を広く他の団体に周知・提供。

分野

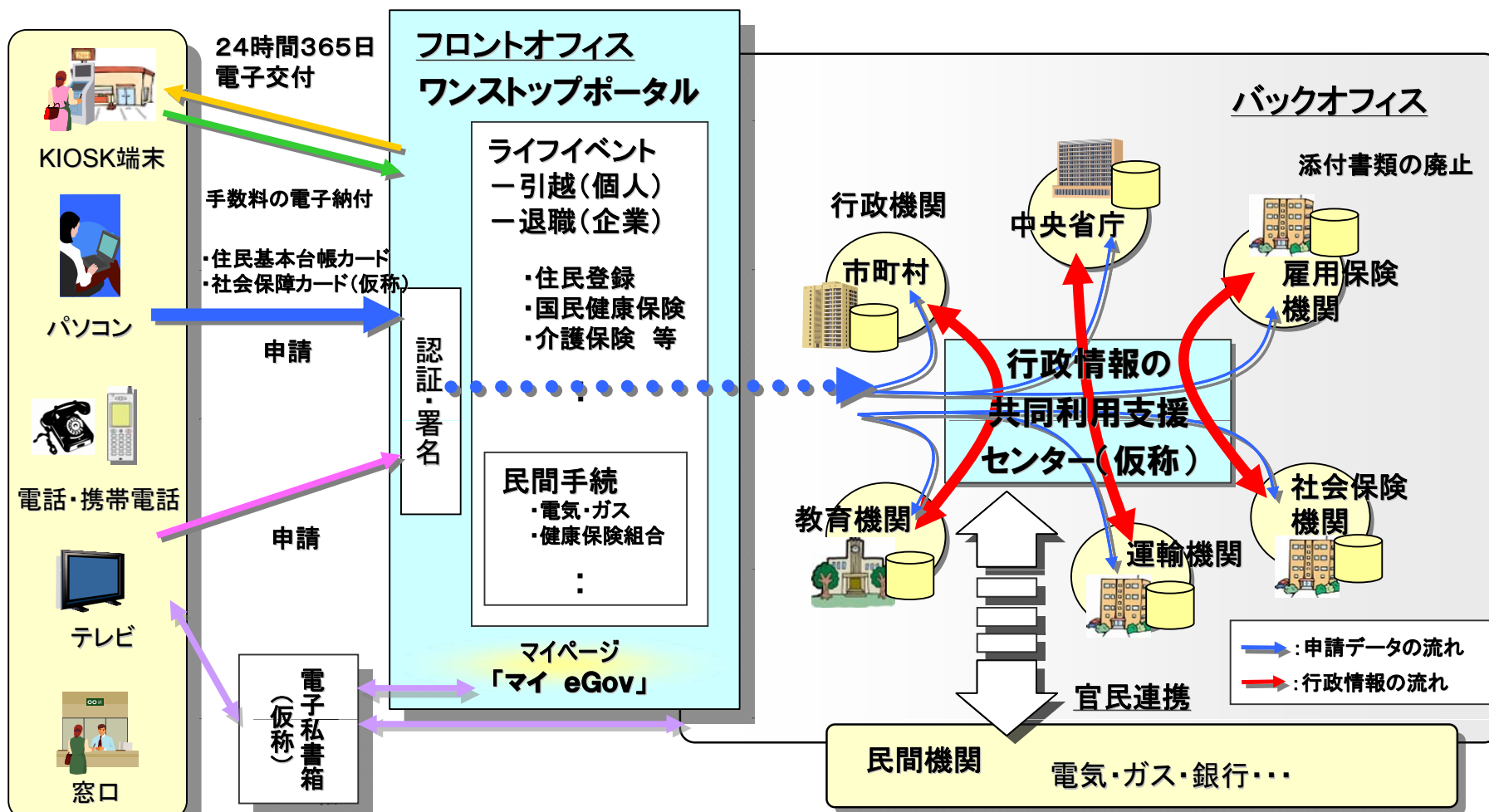
- 引越ワンストップサービス分野
- 地域活性化分野

1件
5件

- ・移住交流支援系 1件
- ・住民生活向上系 3件
- ・地域産業活性化系 1件

「次世代電子行政サービス(eワンストップサービス)の実現に向けた グランドデザイン」におけるワンストップサービスとバックオフィス連携

引越ワンストップでは、1度のオンライン申請と対面での厳格な本人確認が必要な転入先への1回の訪問にて、国、地方、民間の手続きが完結するサービスを目指す。



※ 行政情報は各機関のデータベースに保有し、連携は疎結合により実現。

地域情報プラットフォーム推進事業における次期モデルの概要(仮)

次期モデルとは、業務の実現に関する制限事項(制度面・組織面等)が全く存在しなければそのまま実現できるあるべき姿・理想的な将来像である「将来(ToBe)モデル」の実現を目指しつつも、現実の制限事項を考慮したモデル。

手続のワンストップサービス

- ・引越にかかわる申請手続きが、引越ワンストップポータルにて一括して行える。
- ・申請手続は、オンライン申請(仮申請、事前の仮審査)と、転入先への1度の訪問(正式申請・審査)で完了する。
- ・なるべく多くの申請は、ワンストップ窓口での即時交付を行える。

Push型の情報提供サービス

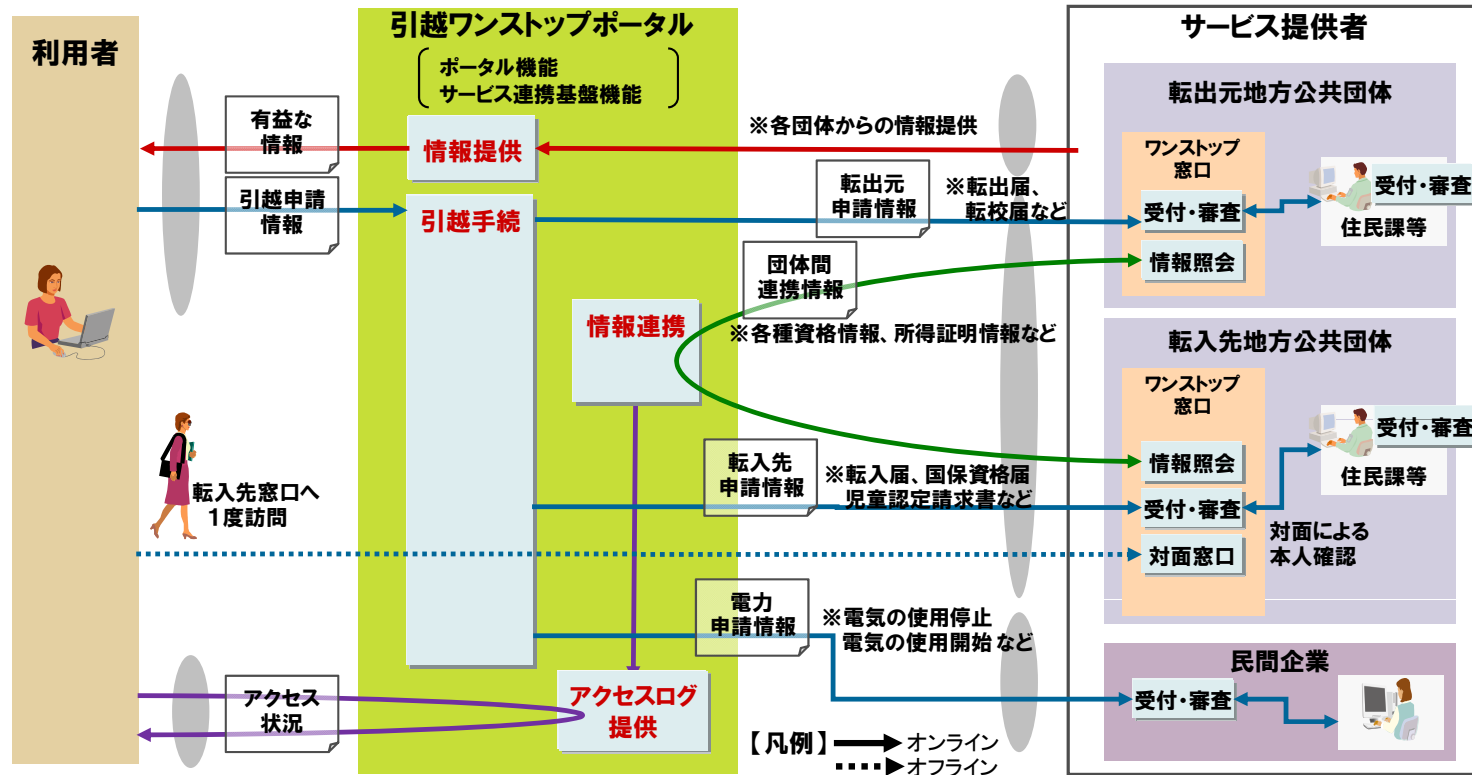
- ・利用者自身が探さなくても、利用者にとって有益な情報が提供される。

サービス提供者間の情報連携サービス

- ・サービス提供者間で情報を連携することができる。

利用者に関する情報アクセスログの提供サービス

- ・サービス提供者間での情報連携など、利用者に関する情報へのアクセス状況を提供する。

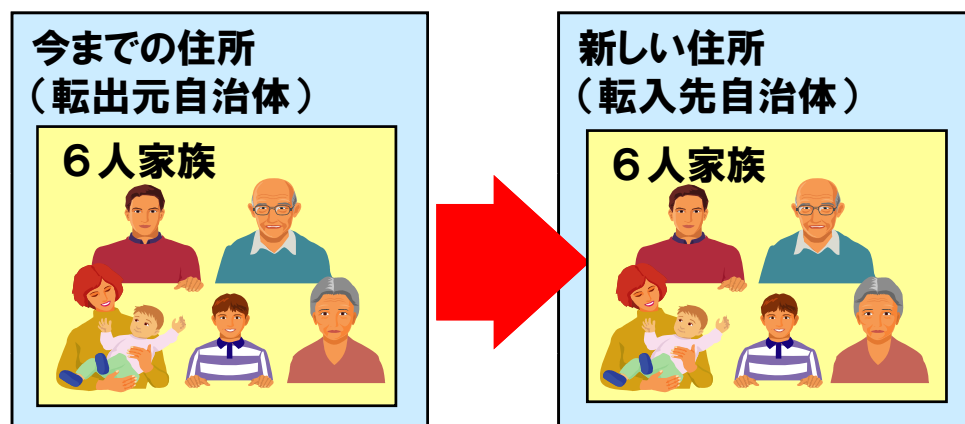


地域情報プラットフォーム推進事業における実証実験の概要

実証実験は、引越ワンストップサービスで提供するサービスを職員モニター・住民モニターに体感いただき、ヒアリングとアンケートにより運用面・制度面の課題の抽出と解決策を検討する。

(1) 実証実験シナリオ

他地方公共団体への世帯全員の引越(世帯転出／転入)



No	続柄	年齢	資格状態
1	本人	35歳	国民健康保険に加入 児童手当を受給
2	配偶者	34歳	国民健康保険に加入
3	長男	7歳	国民健康保険に加入 学校に通学
4	長女	3歳	国民健康保険に加入 乳幼児医療資格あり
5	父	68歳	国民健康保険に加入 介護保険に加入
6	母	69歳	国民健康保険に加入 介護保険に加入

行政への手続

A. 転出元地方公共団体への異動手続(5手続)

- ・転出届、国保資格喪失届、児童手当受給資格消滅届、乳幼児医療費受給資格消滅届、粗大ごみの申請

B. 転入先地方公共団体への異動手続(5手続)

- ・転入届、国保資格取得届、児童手当認定申請、介護保険認定請求、乳幼児医療費助成申請

民間等への手続

C. 契約の変更など(3手続)

- ・電力会社(開始・停止)、水道、新聞

D. 住所の変更(3手続)

- ・郵便局、生命保険、通販会社

実証実験の日程

①職員視点の実証実験

会場	期間
北九州市	2/4~2/13
奥出雲町	2/12~2/19
市川市	2/13~2/18
東京電力	2/23~2/24

②住民視点の実証実験

会場	期間
東京 (京橋)	2/17~ 2/19
大阪 (淀屋橋)	2/24~ 2/25

地域情報プラットフォーム推進事業を行う中での引越ワンストップサービスに関する所感(現段階)

1 当初実現を目指すべき姿

- ・ 利用者(住民、市町村等)の意見を反映した仕組み・サービス
- ・ 利便性向上とともに、行政効率化を重視

※地方公共団体の厳しい財政状況

→ 「次期モデル」で想定していたワンストップサービスの仕組みを見直し

2 実際のサービスは、まず、取り組もうとする地域・サービスから実施

3 引越ワンストップサービスの実現に向けた様々な課題